



絵本の読み聞かせ(0・1歳のおはなしかい)

読書週間

赤ちゃんと 絵本を楽しもう

10月27日(金)〜11月9日(木)は読書週間です。本を読む習慣を身に付けるために大切なことは、本を読む楽しさを教えてあげることです。今回は、赤ちゃんを楽しむ絵本について紹介します。

まだ周囲がはっきりと見えない赤ちゃんにとって、耳から聞こえるお父さんお母さんの優しい声と温かい肌のぬくもりは何ものにも勝る安心感を与えてくれます。

絵本を読み聞かせることで、赤ちゃんの心を通わせ、楽しく温かいひとときを過ごしてください。絵本は赤ちゃんの遊び道具の一つです。気負わず一緒に遊んでみましょう。

どんな絵本を 選んだらいいの

一般的に、赤ちゃんが使う言葉の数は1歳で10語といわれます。その後、2歳で300語、3歳で

900語と短期間に発達していきます。0歳〜1歳6カ月の頃は、心の触れ合いができる本を選ぶと良いでしょう。

「ぶーぶー」や「がたんごとん」といった擬音語や「もこもこ」などの擬態語が繰り返される本で音の響きを楽しみましょう。また、色使いがはっきりしている物で、身近な食べ物や生き物、乗り物を題材にした絵本を選ぶと赤ちゃんの反応に驚くことでしょう。

本を探しに

図書館へ来ませんか

市内には、図書館本館・公津の杜分館のほかに、14カ所の図書室



初めての本はどれにしようか

があり、いずれにも「はじめてであう本」コーナーがあります。

たくさんある絵本の中から本を選ぶのはとても難しいことですが、このコーナーには司書が選んだ赤ちゃんにお薦めの絵本が並んでいます。赤ちゃん一人一人の個性や環境、経験も違うので、いろいろな絵本を試して、お気に入りを見つけてあげてください。

また、図書館本館・公津の杜分館、成田公民館図書室には、司書が常駐していますので、困ったときは気軽に相談してください。

絵本の読み方を紹介しています

保健福祉館で実施されている「赤ちゃん相談」で、市立図書館の司書とボランティアが絵本の選び方や読み方、わらべ歌の紹介をしています。

絵本の読み方といっても、声を変えたり、演技をしたり、特別なことをする必要はありません。いつもより、少しゆったりと語り掛けるだけで良いのです。赤ちゃんは語り掛けられることで、自分が愛されていること、守られていることを体で感じます。

わらべ歌を歌いながら、赤ちゃんの顔や体を触り、目を見てスキンシップを取りましょう。見つめ合うことで赤ちゃんは安心し、お父さんお母さんとの関わりを喜んでくれます。

また、赤ちゃんはお父さんお母さんが話し掛けてくれる言葉をしっかりと聞いて自分の世界を少しずつ広げていきます。身近な人の言葉の贈り物をたくさん届けてあげてください。

おはなし会に参加しませんか

図書館に赤ちゃんを連れていきたいが、「静かな図書館へ赤ちゃんを連れて行ってもいいの?」「泣いたらどうしよう」という相談が寄せられます。そんなときは、「0・1歳のおはなし会」へ参加してください。0・1歳のおはなし会には、おなじみのわらべ歌や絵本の読み聞かせを中心に、保

護者と赤ちゃんが一緒に参加するおはなし会です。おはなし会には、同じように赤ちゃんを連れてお父さんお母さんが参加します。また、おはなし会

は扉を開けて行うので、赤ちゃんが大きな声を出しても大丈夫です。開催日などは市立図書館ホームページ(https://www.library.city-narita.lg.jp/story/age0_1/)

2017/index.html)や広報なりたなどでお知らせしています。
※くわしくは市立図書館(※27・2000、月曜日・10月31日(※は休館)へ。

インタビュー

息子は絵本が大好き

図書館は月に2回ほど利用しています。本を借りるだけでなく、子どもと一緒に「おはなし会」に参加するために行きます。おはなし会への参加のきっかけは、子どもが自宅にある絵本を指さして興味を示していたこと。この機会に、絵本の読み聞かせなどをしてくれる、おはなし会に参加してみようと思いました。実際に参加して、子どもが絵本に見入っていたことが印象的でした。家でも、司書の方の話し方をまねて、ゆっくりと語り掛けることを意識して読み聞かせしています。絵本を読んであげると、とても喜んだ顔をしてくれるのでうれしく思います。また、絵本で見た物の名前を覚えてくれ、成長を感じます。今では、読んでもらいたい物を指さして教えてくれるほど、絵本が大好きです。



日暮 恵美さん
めぐみ はると
悠仁くん(1歳) (囲読台)

読み聞かせは私の宝物

読み聞かせのボランティアを始めて約2年になります。保健福祉館で開催されている4カ月児の赤ちゃん相談の際に、保護者に赤ちゃんの月齢に合わせた絵本を紹介したり、赤ちゃんに実際に読んで聞かせたりしています。「今度図書館に絵本を探しに行ってみます」と言ってもらえると、うれしいですね。読み聞かせは、親子のコミュニケーションを取る方法として良いと思います。私自身も子どもが寝る前にしてあげていました。今思うと、日々の生活が忙しいながらも、親子で触れ合う時間を持てたことは良かったと感じています。そして、その時間は私の宝物となっています。読み聞かせはお母さんがやられていることが多いと思います。お父さんも気負わずにぜひやってみてください。



みどうまる まさこ
御堂丸 正子さん(玉造)